NIE実践報告

1．タイトル：新聞の「情報」がどのように伝わるのかを知ろう

2．学校名

宮崎県　延岡市立土々呂中学校

3．実践者名（代表者名）

片山　弘喜

4．学年

第１学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動　・　３０名

6．単元（本時の学習課題）名

新聞の「情報」がどのように伝わるのかを知ろう

7．目標(狙い)

・新聞を活用することで、紙面の構成や記事の種類などを知る。
・国際面の記事をスクラップし、まとめることで新聞の速報性を知る。

8．評価の視点

・ゲストティーチャーの話を真剣に聞くことができたか。
・新聞から、国際面の記事にはどのようなものがあるのかを知ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　新聞を広げる。
　・　これまでに学校に配布された新聞を一人に一部ずつ配布し、自由に新聞を広げさせる。
2　スクラップした記事を確認する。
　・　事前に、各紙の国際面の２～３本の記事をスクラップするように指示しておく。
　・　授業までにスクラップした記事を机上に置かせ、確認させる。
3　新聞の国際面を眺める。
　・　新聞の国際面を開くように指示し、新聞には世界各地の記事があることに気づかせる。
4　本時のねらいを確認する。
5　ゲストティーチャーの話を聞く。（２０分）
　(1) 講師の紹介　　共同通信社　宮崎支局長　清水　昭範　様
　(2) 講師の話（共同通信社の概要、情報の収集について、国際面の記事の配信）
　・　講師を紹介する時に、話を聞く時の態度やメモを取りながら聞くように指示し、集中して話を聞くよう

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・国際面の記事はいろいろなところから集まっていることがわかった。
・新聞社ではなく、通信社のことがわかってよかった。

12．成果と課題

・通信社の方にゲストティーチャーとして授業に参加していただくことで、新聞社がどのように情報を集めているかを生徒に理解させることができた。
・通信社の説明は難しいが、きちんと説明すると中学生にも理解させることができる。